

製品名: CDK5 (2E8) マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM03453**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000, ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 33 kDa; Observed MW: 36 kDa

抗原情報

遺伝子名	CDK5 Cdk 5; Cdk5; CDK5_HUMAN; Cell division protein kinase 5; Crk6; Cyclin dependent kinase 5;
別名	Cyclin-dependent kinase 5; Protein kinase CDK5 splicing; PSSALRE; Serine threonine protein kinase PSSALRE; Serine/threonine-protein kinase PSSALRE; Tau protein kinase II catalytic subunit; TPKII catalytic subunit.
遺伝子 ID	1020
SwissProt ID	Q00535
免疫原	ヒト CDK5 の合成ペプチド

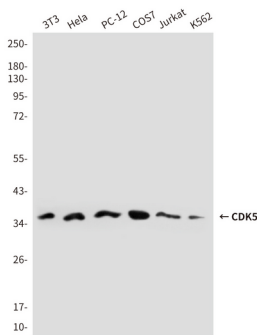
背景

サイクリンだけでなく、p35 (CDK5R1) および p39 によっても活性化される。脳の発達過程における神経細胞の配置を制御する重要な因子である。シナプス形成および神経伝達にも関与する可能性がある。基質としては、TAU、MAP2、NF-H および NF-M、Nudel、PDE6、 β -カテニン、アンフィフィシン、ダイナミン I、シナプシン 1、Munc-18、NMDA 受容体 2A などが挙げられる。筋形成、造血細胞分化、精子形成、インスリン分泌、水晶体分化に関与する。

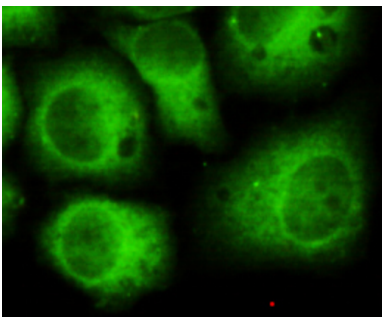
研究分野

細胞生物学

画像データ



Cdk5 抗体を使用した 3T3、Hela、PC-12、COS7、Jurkat、および K562 溶解物中の CDK5 (N 末端) のウエスタン プロット分析。



CDK5 抗体を用いた HeLa 細胞における CDK5 の免疫細胞化学分析。